

2014年2月6日

明治大学理工学部物理学科
学科長 立川 真樹

最終講義のご案内

立春の候、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、明治大学理工学部でながらく教鞭をとられてきました市川禎宏先生と楠正美先生が、3月をもって定年退職されることになりました。

市川先生は表面物理学の分野で、常に学界の道標となる成果を積み上げてこられました。物質の表面に並ぶ原子一個一個を観測するSTMをはじめ、自ら開発された装置で研究に没頭するお姿は、まさに実験物理学者の鑑です。楠先生は、生物物理学、とくに生命現象をミクロな視点から解明する量子生物物理学を開拓された先駆者のお一人です。生物物理に強い今日の物理学科があるのも、楠先生のご尽力のお陰です。

市川先生、楠先生ともに、物理学科の専門教育はもちろんのこと、他学科への物理の基礎教育にも多大な貢献をされてきました。多くの学生に慕われ、ご指導を受けた卒業生たちは学界・産業界で大いに活躍しています。そんな両先生の最終講義を下記のように設定いたしました。長年の研究・教育の集大成となるご講演になるものと思います。皆様、こぞってご参加くださるようお願い申し上げます。

記

日時 2014年3月8日(土曜日) 15時から
場所 明治大学駿河台校舎 グローバルフロント棟 1階 グローバルホール

◆ 市川 禎宏 教授

時間 15時00分 ～ 16時15分
題目 “ 夢多き人生、楽しきかな人生 ”

◆ 楠 正美 教授

時間 16時30分 ～ 17時45分
題目 最終講義： Quantum Origin of Life

同日、午後6時よりOB主催による感謝の会がお茶の水で開催されます。
御参加を頂ける場合には、立川までお問い合わせ下さいますよう、お願い申し上げます。

Tel: 044-934-7271 (内線 7271) Mail: tachikaw@isc.meiji.ac.jp

